



しんじゅようちえん 73-1523



日	月	火	水	木	金	土
			1 衣替え 園庭開放	2 芋の苗植え (月組)	3	4 休園
5 	6月組体育 集金日 <small>卒園アルバム代(月組)</small>	7 自由参観日	8 ぴよんぴよん らんど	9 月組英語	10 廃品回収	11 休園
12	13	14	15 園庭開放 消防レンジャー 見学(月組)	16 月組英語	17	18 休園
19	20	21 お誕生日会 6月生まれの お友達正装	22 園庭開放 お弁当の日	23 交通安全指導	24	25 休園
26 	27 月組体育	28	29 園庭開放	30		

今月のことば

大切なものが  
見えていない  
ということとは  
大切なでないものを  
勘違いしている  
ということ

(小池秀章)

「一番大切なものは何？」と聞かれたら、多くの人は、「いのち」と答えるでしょう。この答えが間違っているわけではありませんが、自分勝手なものさしで「いのち」を見ていないか、振り返ってみる必要があると思います。

多くの場合、老人の「いのち」よりも若者の「いのち」、病人の「いのち」よりも健康な人の「いのち」の方が、大切だと思っていないではないでしょうか。人は生まれたからには皆、若い・病み・死んでいきます。若い・病み・死んでいくことは、ダメになることでしょうか。仏さまは、若い・病み・死んでいくことにも大切な意味がある、ということをお話してください。

また、私たちは、役に立つか立たないか、自分にとって都合がいいか悪いかわからないでしようか。仏さまは、それが痛ましい在り方だと気づかせようと、はたらくてくださっています。

龍谷大学非常勤講師

小池秀章

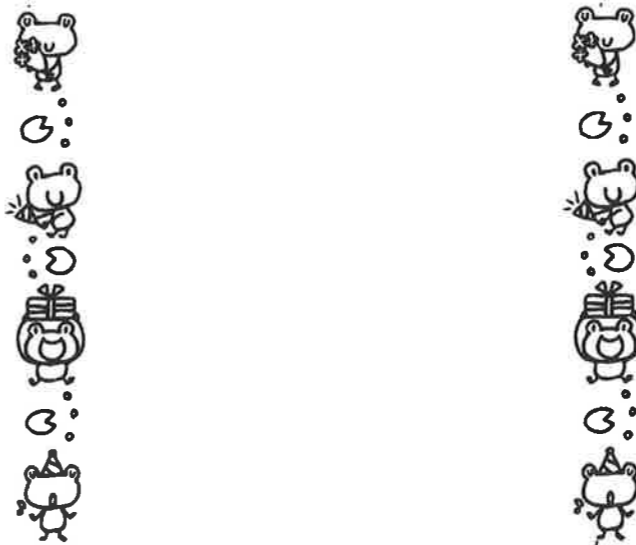
こいけひであき

一楽真氏は、「大切なものが見えないということは、見えただけでは済みません。大切なものを大切だと勘違いしてしまうのです」『阿弥陀経入門 (一〇六頁)』と書かれています。

私たちは、自分勝手なものさし(自分にとって「いいか悪いか」「役に立つか立たないか」などのものさし)にとらわれて、大切なものを見失ってしまっているのではないのでしょうか。「本当に大切なものは何か。大切なものを大切だと勘違いしてはいないか」、仏さま(真実に目覚めた方)のみ教えを聞かせていただく中で、常に、問い続けていかなければならないと思います。

合掌

6月のおたんじょうび



おたんじょうび おめでとう

7月の行事

- 1日(金) プール開き
- 6日(水) ぴよんぴよんらんど
- 7日(木) セ夕会
- 8日(金) わくわく保育(月組)
- 15日(金) お誕生日会
- 19日(火) 終業式《正装》  
(平常保育 お給食あり)
- 25日(月)~29日(金)  
夏季保育(前半) 個人懇談  
11時30分降園(お給食なし)
- 29日(金) 夏祭り

★持ち物にはすべて記名をお願いします。(傘、長靴、ヘアゴム、マスク、キーホルダーなどに記名がないことが多くあります)

★集金袋は登降園時に、直接職員にお渡し下さい。